

2027年3月期 第1四半期決算概況

2026年7月29日



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2026. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

2027年3月期 第1四半期 業績概要

- 重点成長領域である、デジタル製造事業、ERPソリューション事業、ITインフラ・セキュリティ事業に加え、産業ソリューション事業が堅調に推移。
- 一方で、鉄鋼事業の製鉄所システムリフレッシュ完遂の影響により、全体としては昨年度を下回る業績となった。

2027年3月期 業績見通し

- 重点成長事業を中心とするグループ外顧客向け事業では、増収を見込む。
- 鉄鋼事業は製鉄所システムリフレッシュの完遂により前年度比減収となるが、リソースの再配置と体制の効率化を速やかに進め、全社成長軌道への回帰を図る。
- 売上高は 600億円(前年度比+26億円)、経常利益は68.0億円(前年度比+3.5億円)を見込む。(前回2026年4月24日公表値どおり)

株主還元

- 2026年3月期末配当は、従来の配当方針に沿った配当額として40円／株を決定し、支払い済。中間配当28円と合わせ年間68円／株に増配。
- 2026年度については、配当性向の水準を維持しつつ、業績見通しにおける増益を反映し、年間70円／株への増配を予想。



CONTENTS

- 1. 2027年3月期 1Q業績04
- 2. 2027年3月期 業績見通し10
- 3. 株主還元15
- 4.重点成長事業 中期計画に対する進捗状況17



1. 2027年3月期 1Q業績

報告単位(詳細)

鉄鋼

- JFEスチール、JFEグループ向けシステム開発
JFEスチールの生産・操業管理システム、および本社・JFEグループ各社 基幹・業務システムの構築・改善・運用・維持管理

デジタル製造

- データドリブン経営支援
SCMソリューション、産業データ & AIプラットフォーム構築、デジタルワークプレイスの提供

ERPソリューション

- 基幹システム構築
ERP(SAP社、Microsoft社)と自社開発のERPテンプレート群提供による基幹システム構築、およびBI/DWH構築

スマートソリューション

- パッケージシステム提供
自社開発(電子帳票・食品品質管理・原価管理・調達システムなど)およびアライアンスソリューションを、単独または組み合わせて提供

産業ソリューション

- 大規模製造業向け業務システム開発
製造業の豊富な業務知見に基づき、お客様ニーズに合った業務システムを構築

基盤

- ITインフラストラクチャの提供
クラウドサービス、ネットワーク構築、仮想化技術、情報セキュリティなどITインフラの提供

※ 子会社

JFEコムサービス(株) インフラ構築およびJFEグループ向けSI
IAFコンサルティング(株) 経営指標の可視化(BI)導入コンサル

2027年3月期 1Q決算概況(連結:前年同期比)

	2026年3月期 1Q 実績	2027年3月期 1Q 実績	増減額	増減率
売上高	14,811	12,742	△2,069	△14.0%
売上総利益	3,682	3,160	△522	△14.2%
販売費及び一般管理費	2,029	2,358	+329	+16.2%
営業利益	1,653	802	△851	△51.5%
経常利益	1,685	884	△801	△47.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,097	519	△578	△52.7%
受注高	12,256	10,704	△ 1,552	△12.7%
受注残高	23,331	21,026	△ 2,305	△9.9%
ROE(自己資本利益率)	3.3%	1.5%	△1.8ポイント	
EPS(一株当たり純利益)	34.9円	16.5円	△18.4円	

単位:百万円

2027年3月期 1Q概況

(売上高、売上総利益)

- 鉄鋼事業の減収影響により、売上高は前年同期比14.0%減。売上総利益は減収影響により、前年同期比14.2%減。

(販売費及び一般管理費)

- 販売戦略投資、人材採用・育成および社内システム費用等の増加により、前年同期比16.2%増。

(営業利益)

- 売上総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加が営業利益を押し下げ、前年同期比51.5%の減。

2027年3月期 1Q事業別売上高(連結:前年同期比)

- 重点成長事業であるデジタル製造、ERPソリューション、基盤事業を中心に増収を達成する一方、鉄鋼での製鉄所システムリフレッシュの完遂により減収。

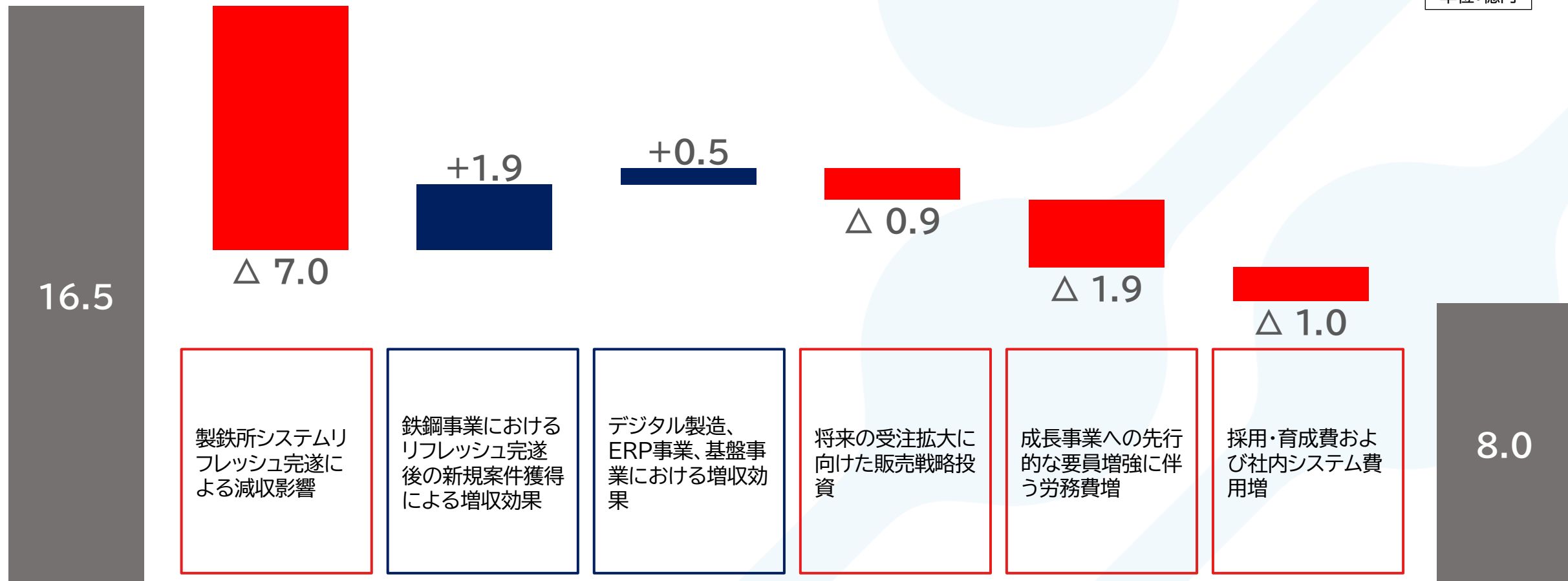
単位:百万円	2026年3月期 1Q 実績	2027年3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2027年3月期1Q 事業概況
売上高 *1	14,811	12,742	△2,069	△14.0%	
デジタル製造	513	566	+53	+10.4%	製造業顧客向けサプライチェーンマネジメントソリューションの導入案件増加に加え、DX推進案件増により増収
ERPソリューション	898	945	+47	+5.2%	製造業顧客向けの次世代データ基盤構築案件の拡大や基幹システム導入案件増により増収
スマートソリューション	1,386	1,374	△12	△0.9%	原価・購買・人事・給与ソリューション領域も堅調であり高水準を維持
産業ソリューション	1,888	1,906	+18	+1.0%	自動車業界をはじめとする製造業既存顧客向け業務システム開発が堅調
鉄鋼	6,736	3,892	△2,844	△42.2%	製鉄所システムリフレッシュの完遂により減収となったものの、後続案件についても着実に推進中
基盤	2,368	2,443	+75	+3.2%	ITインフラ・セキュリティ案件増による増収
子会社	1,339	1,347	+8	+0.6%	前年度並みで推移

連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

2027年3月期 1Q営業利益増減の要因(連結)

- 製鉄所システムリフレッシュ完遂に伴う影響はあったものの、重点成長事業および鉄鋼事業における案件拡大が寄与。一方で、将来の受注拡大に向けた販売戦略投資や成長事業への先行的な要員増強、採用・育成費用および社内システム費用の増加等により、減益。

単位: 億円



2027年3月期 1Q連結貸借対照表(連結)

- 総資産は、前年期末日比1,709百万円増の54,434百万円。

単位:百万円

区分	2026年 3月期末	2027年 3月期 1Q	増減
現預金	27,600	28,491	+891
その他流動資産	13,387	13,805	+418
流動資産合計	40,987	42,296	+1,309
有形固定資産	3,419	3,178	△242
無形固定資産	2,806	2,870	+65
投資その他	5,512	6,090	+578
固定資産合計	11,738	12,138	+400
資産合計	52,725	54,434	+1,709

区分	2026年 3月期末	2027年 3月期 1Q	増減
流動負債	10,520	13,213	+2,694
固定負債	5,507	5,240	△268
負債合計	16,027	18,453	+2,426
株主資本	34,122	33,384	△737
その他の包括利益累計額	1,346	1,401	+56
非支配株主持分	1,231	1,196	△35
純資産合計	36,698	35,981	△717
負債・純資産合計	52,725	54,434	+1,709



2. 2027年3月期 業績見通し



2027年3月期 業績見通し(連結:前年度比)

- 第1四半期は製鉄所システムリフレッシュの完遂影響により前年同期比では減収となったものの、通期計画に沿って推移しており、想定通りの進捗である。
- 売上高は前年度比で26億円増収の600億円、営業利益は前年度比2.5億円増益の66億円を見込む。(前回2026年4月24日公表値どおり)

単位:百万円

	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	増減額	増減率
売上高	57,411	60,000	+2,589	+4.5%
売上総利益	14,424	15,560	+1,136	+7.9%
販売費及び一般管理費	8,078	8,960	+882	+10.9%
営業利益	6,346	6,600	+254	+4.0%
経常利益	6,454	6,800	+346	+5.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,266	4,380	+114	+2.7%
ROE(自己資本利益率)	12.5%	11.9%	△0.6ポイント	
EPS(一株当たり純利益)	135.8円	139.5円	+3.6円	
DPS(一株当たり配当金)	68.0円	70.0円	+2.0円	
配当性向	50.1%	50.2%	+0.1ポイント	

2027年3月期 概況

(売上高)

- 重点成長事業を中心とするグループ外顧客向け事業は堅調に推移し、鉄鋼事業の減収影響はあるものの、前年度比で4.5%の増収となる見込み。

(販売費及び一般管理費)

- 営業活動強化に伴う販売費の増加および、採用・育成費用、業務効率化を目的とした社内システム費用等を織り込み、前年度比で10.9%増となる見込み。

(営業利益)

- 増収により、前年度比で4.0%の増益となる見込み。

2027年3月期 事業別売上高見通し(連結:前年度比)

- 製鉄所システムリフレッシュの完遂に伴う影響はあるものの、重点成長事業を中心とするグループ外顧客向け事業の拡大により、2026年度は前年度比で約26億円の増収を見込む。

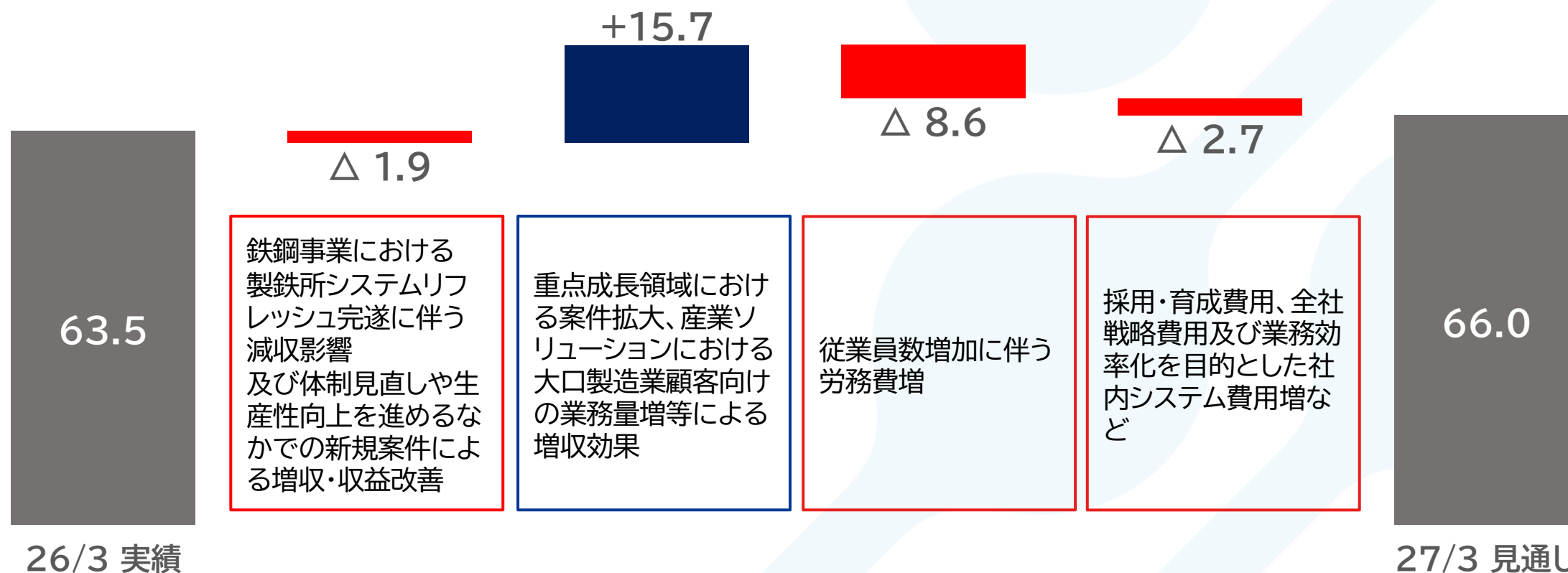
(百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	増減額	増減率	2027年3月期 事業概況(見通し)
売上高 *1	57,411	60,000	+2,589	+4.5%	
デジタル製造	2,219	2,496	+277	+12.5%	サプライチェーンマネジメントソリューション導入案件とIT/OT統合データ活用案件の獲得により事業規模を拡大する
ERPソリューション	3,977	4,818	+841	+21.1%	新規顧客向けERP導入案件の拡大や、次世代データ基盤構築案件にて増収を見込む
スマートソリューション	5,907	6,095	+188	+3.2%	クラウドビジネスへの移行を通じ、持続的な収益性向上と効率化を進める
産業ソリューション	7,895	9,284	+1,389	+17.6%	自動車業界をはじめとする製造業既存顧客向け業務システム開発の受注拡大により、増収を見込む
鉄鋼	21,993	18,110	△3,883	△17.7%	製鉄所システムリフレッシュの完遂を受け、今後の大型案件受注に向けた取り組みを本格化
基盤	9,904	10,632	+727	+7.3%	事業規模拡大に向け、新規事業開拓、JFEグループ外とのビジネス拡大、社外との協業を積極的に推進
子会社、他	5,515	8,565	+3,050	+55.3%	コムサービス社の売上高拡大等による増収を見込む

連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

2027年3月期 業績見通し 営業利益増減の要因(連結)

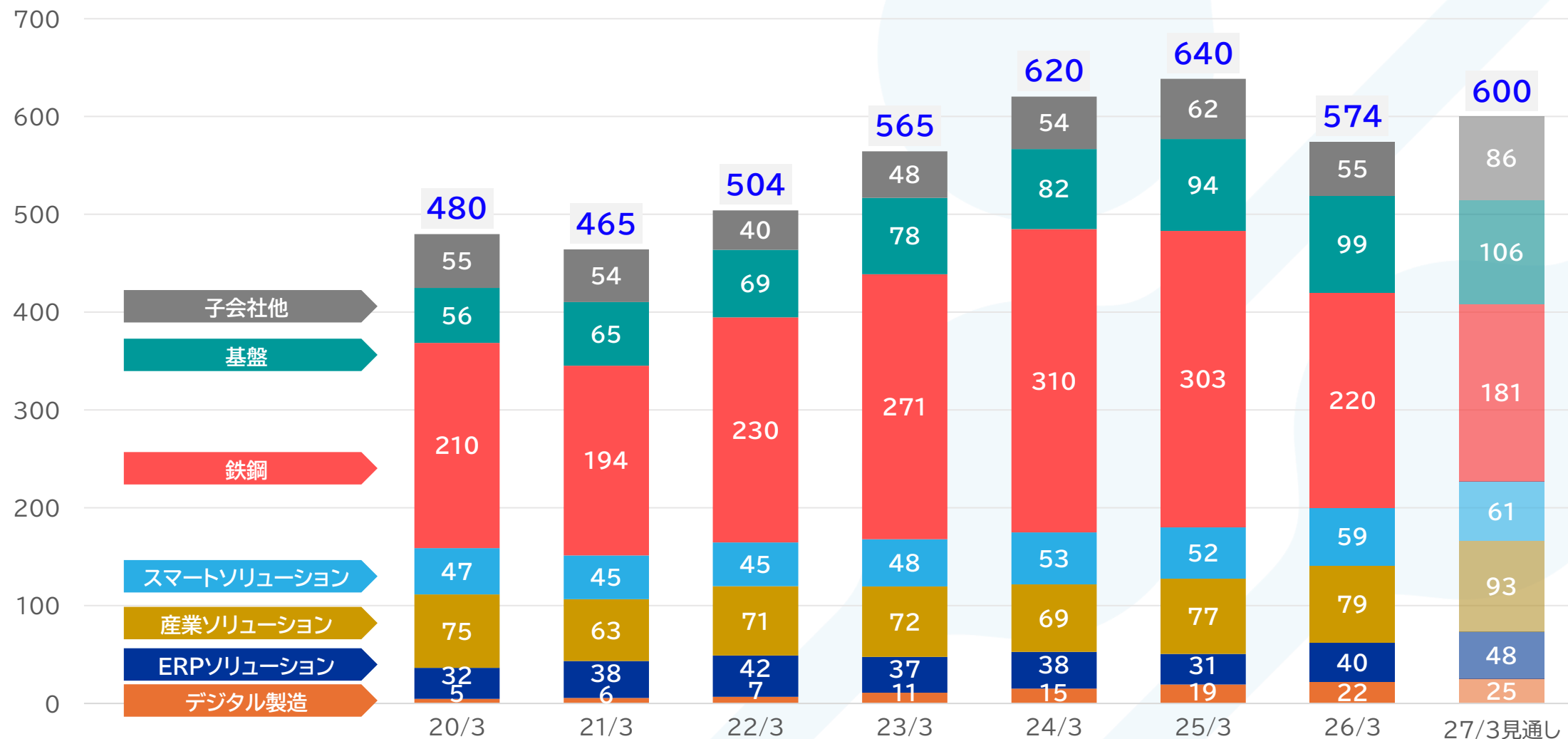
- 製鉄所システムリフレッシュ完遂に伴う影響はあるものの、重点成長事業を中心とするグループ外顧客向け事業の拡大が寄与。成長事業への先行的な要員増強や採用・育成費用、社内システム費用等を織り込み、前年度比2.5億の増益を見込む。

単位:億円



参考: 報告単位別売上高推移(連結)

売上高(億円)



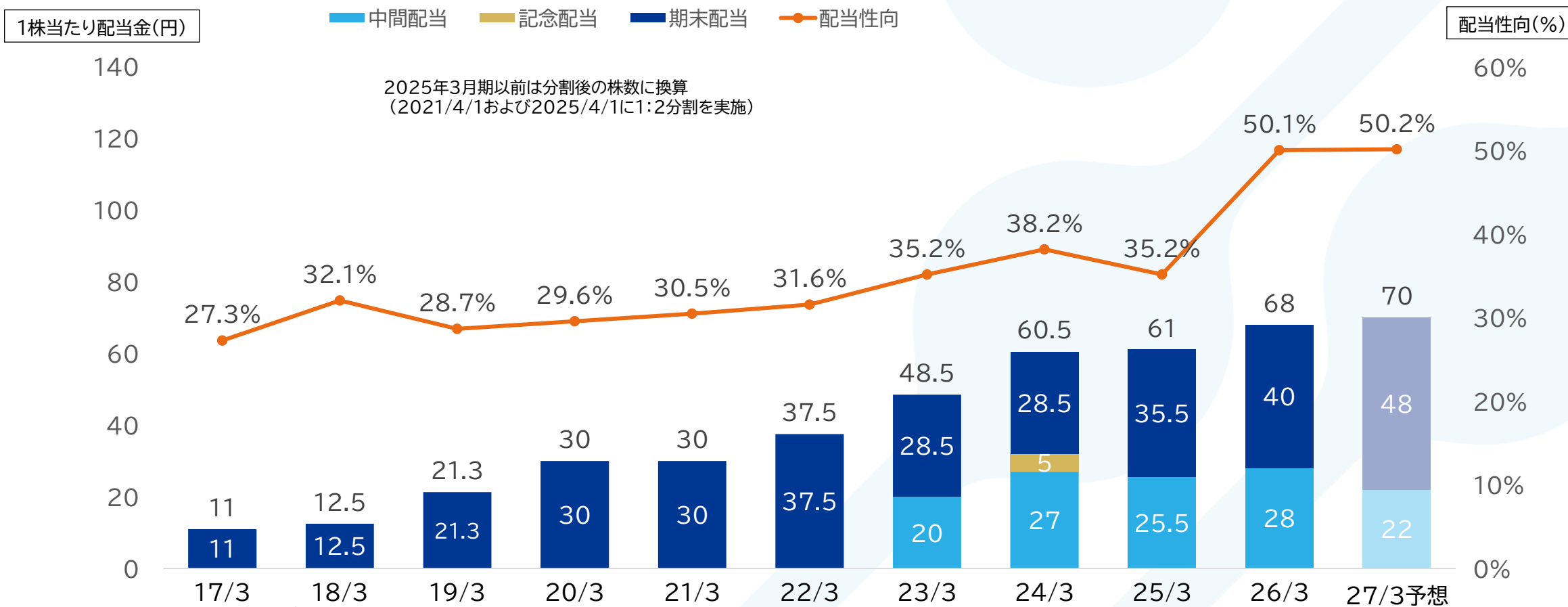


3. 株主還元



株主還元

- 現中期経営計画では「配当性向50%目標」とし、利益水準、再投資計画、財務状態等を総合的に勘案した利益配分を行う方針。
- 2026年3月期末配当は、従来の配当方針に沿った配当額として、40.0円／株を決定し、支払い済み。
中間配当28円と合わせ年間68円／株に増配。
- 2026年度も引き続き株主還元を重視した安定配当を実現すべく、年間70円／株を予想。(2026年4月24日公表)



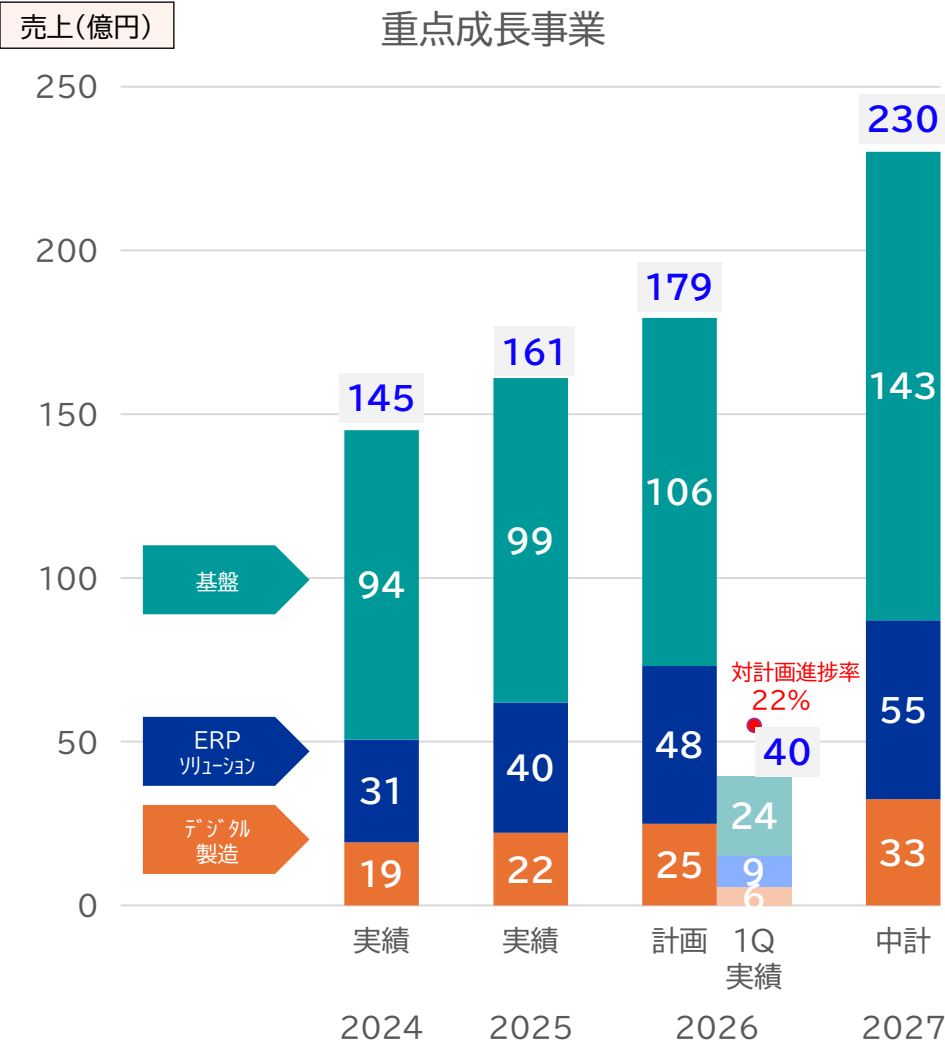


4. 重点成長事業 中期計画に対する進捗状況

中期経営計画 進捗状況

重点成長事業

- ▶ 全社の成長を牽引し、市場プレゼンスと収益の両面で将来の柱とする事業群。
- ▶ 中期計画達成に向けて3事業共順調に進捗。



基盤事業

- ・ ITインフラ・セキュリティ需要の拡大を背景に、計画通り順調に進捗
- ・ グループで培った技術・運用ノウハウを起点に、グループ外顧客への展開を拡大
- ・ 他社協業も活用しながら新たなソリューション創出を進め、成長ドライバーの確立を目指す

ERPソリューション事業

- ・ SAP社およびMicrosoft社の基幹システムを成長ドライバーと位置付け、製造業顧客を中心に事業拡大を推進
- ・ 自社開発周辺ソリューションとのクロスセルにより、付加価値拡大と収益基盤の強化を推進中
- ・ 次世代データ基盤構築案件も着実に推進中

デジタル製造事業

- ・ 製造業向けサプライチェーンマネジメント(SCM)ソリューション導入案件は引き続き堅調に推移し、中期計画通りの進捗
- ・ 製造業を中心としたDX需要の拡大を背景に、現場データ活用・IT/OT連携領域の案件が拡大



Appendix



主なニュース・プレスリリース(2027年3月期1Q)

2026年
5月26日

電子帳簿システム「DataDelivery®」がデジタルシームレスソフト法的要件認証の全ての範囲で認証を取得
Peppol発行・受領、銀行取引データ受領の全範囲でJIIMA認証を取得し、
令和7年度税制改正で電子帳簿保存法に新設された認証制度に対応(電子取引データの自動保存・帳簿連携)

2026年
6月3日

「ASTERIA Warp Contribution Award 2026」を受賞
アステリア株式会社主催「Asteria Partner Summit 2026」にて、長年にわたる導入・協業実績を評価され受賞

2026年
6月4日

クラウド型Web購買システム「Prociec®」の新バージョン(Ver.1.3)をリリース
単価契約品購買への対応や、各画面でのExcelデータのアップロード・ダウンロード機能を強化。
組織改正・担当者変更時の案件一括移管にも対応し、購買業務と運用のさらなる効率化を実現

2026年
6月15日

JFEシステムズ、女性活躍推進法に基づく「えるぼし(3段階目)」認定を取得
「女性の活躍推進」への取り組みが優良な企業として、厚生労働大臣が認定する「えるぼし(3段階目)」の認定を取得

2026年
6月25日

当社社員が「2026 Japan All AWS Certifications Engineers」に選出

当社社員2名が、対象のAWS認定資格(12種類)をすべて保持するエンジニアとして選出される

2026年
7月24日

製鉄所システムリフレッシュプロジェクトが「IT Japan Award 2026」グランプリを受賞

JFEスチールの「製鉄所システムリフレッシュプロジェクト」が高く評価され、日経コンピュータ主催の「IT Japan Award 2026」グランプリを受賞。当社は約2億ステップのレガシー資産のオープン・クラウド環境への移行など、本プロジェクトの成功に貢献



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

ご注意

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきます。



JFE システムズ 株式会社